

令和6年4月25日（木）

ご縁に感謝、「元気な声と笑顔があふれる学校」を目指して



稲沢北小学校長 内藤 伸一朗
ないとうしんいちろう

今年度、六輪小学校から赴任してまいりました、校長の内藤伸一朗と申します。稲沢北小学校地区は、20年以上前に稲沢西中学校に勤めていたご縁で、当時在籍していた生徒が今は保護者として稲沢北小学校にお子さんを通わせている、ということが分かりました。これも、何かのご縁として、再会できたことをうれしく思います。稲沢北小学校区については、これから地域や保護者の皆様、子どもたちや先生たちから学ばせていただきたいと思います。稲沢北小学校の子どもたちの健やかな成長のために、全身全霊で取り組んでまいります。何卒、よろしくお願い致します。

さて、4月4日、保護者、5・6年生、教職員に見守られる中、入学式が執り行われました。新1年生52名の子どもたちは、どの子も背筋をピンとさせ、少し緊張した面持ちで式に臨み、自分の名前が呼ばれると、元気な声で「はい！」と返事をしてくれました。令和6年度は、14学級、340名でのスタートでした。

本校では、今年度も「元気な声と笑顔があふれる学校」を目指し、「明るく、元気で、自分の考えをもち、自他を大切にできる児童」の育成を目指して教育活動を進めてまいります。

入学式や始業式では、子どもたちに「あいさつ」を元気にしよう、という話をしました。朝、元気に「あいさつ」を交わせば、一日のスタートが気分よく始まります。下校時も、元気に「あいさつ」を交わせば、明日もまた学校に行こう、という意欲がわきます。そのために、職員が一丸となって、校内で「あいさつ」の声を響かせています。これから一年間、「あいさつ」を通して、元気な声を響かせていきたいと考えています。

また、始業式では、もう一つ話をしました。それは、「楽しい学校をつくろう」です。楽しい学校にするためには、誰かに学校を「楽しく」してもらう、という受け身の姿勢ではなく、自ら学校を「楽しく」するために、自分の頭でできることを考え、行動していくことが大切であると考えます。子どもたちには、不思議に思うこと、興味があることについて、自分の頭で考え、新しいことを知る喜びや楽しみを感じてほしいと思います。また、友達と触れ合う中で、相手の気持ちを思いやり、互いに尊重し合いながらよりよい集団生活をおくってほしいと思います。そのために、自分ができることを考え、行動に移してほしいと願っています。これらを実現する中で、「元気な声と笑顔があふれる学校」を実現できればと考えています。

地域や保護者の皆様には、ぜひ、温かい目で見守っていただき、稲北っ子の成長を支えていただけたらと思います。もちろん、子どもたちには、大人として教えなければならないことはたくさんあります。しかし、初めから答えを教えてしまうのではなく、考えさせ、一緒に悩んでいただけたらと思います。そして、前を向いて歩いていけるよう、アドバイスをしていただけたら幸いです。

私たち教職員も、子どもたちに寄り添い、共に考えることを大切にしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。